

平成 27 年度入学式 理事長式辞

平成 27 年 4 月 7 日
学校法人東明館学園
理事長 慈道 裕治

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。ご父母、ご家族の皆さん、ご子女のご入学おめでとうございます。東明館学園は、これから始まる新年度が実りの多いものとなるように、教職員一同心新たにしています。

東明館は、江戸時代の学者で日田の咸宜園を開いた広瀬淡窓の教えを受け、「好学愛知・自律自啓」の精神を創立以来、教育理念としています。自ら好んで学び、広く世界に知識を求め、自分自身を啓発して社会に貢献できる人となれるように皆さんを教え導くこと、また皆さん一人ひとりが自律自啓の精神を持って日々の生活を送ることを本校の教育理念としています。身体に背骨があって身体が支えられているように、一人ひとりの心には日々の生活を支えるバックボーンが必要です。困難なことがあって心が萎えそうになったとき、その言葉を思い出すことで心に張りが出る言葉、それが心のバックボーンです。本校は、心のバックボーンとなる言葉を「好学愛知・自律自啓」に置いています。なじみにくいかもしれませんが、日々の生活のなかで味わいかみしめて下さい。

ところで、皆さんが中学生生活、高校生活を送る今という時代さらに今後はどのような時代でしょうか。よくいわれるように国際化、グローバル化がさらに進むでしょう。物事が国境を越えて影響を与えあう時代、国内だけでは閉じない時代であることがますます実感されることでしょう。同時に、地域の再生が重要なテーマとなっています。地域に息づくことと国境を越えることが別のことではない時代、それがこれからの特徴になるでしょう。海外と交流するには、それぞれの地域の文化を尊重すると同時に、日本社会がどのような社会かを語れることが必要です。国際理解と日本理解、その両方を理解できる教養がこれからは重要となってきます。いずれにしても、これからがどのような時代かという問いにたいして、東明館での学習を通して皆さん一人ひとりの言葉で語れるようになることが大切です。常に社会と時代に向き合い、その繋がりを自覚し、自分は何を目指す人になりたいのか、何にチャレンジするのか、それを問い続けることが大切です。学習するということは自らの人生の目的を見出し、それに向かって努力できる人間の土台をつくることです。本校はいわゆる難関校を始めとして進学に必要な学力を養成することを重視します。それと同時に大切なことは、18歳になって本校を巣立っていくときに、どんな人間になりたいのか、それにたいする答を持って本校を巣立っていただきたいということです。

日本は長い歴史のなかで常に世界の優れたものから学び、それを取り入れ、日本独自のものをつくりあげてきました。そうした努力のなかで、いまでは、日本のものづくりや日本人らしい心のこもったサービスなど、世界から学ばれるものをつくりだすようになっていきます。そのことによって人と人とが結びつき、国境を越えた交流の輪が広まっています。日本が世界から学び、世界に学ばれるようになってきたように、皆さんもすぐれたものから学び、皆さんの努力の成果が人から学ばれるようになってください。そのことで、多様な人と人との結びつきができる人となって下さい。

東明館はそのために、皆さんにいろいろな学習機会を提供します。本校は今年度、スーパーグローバルハイスクール・アソシエイト校として文部科学省によって指定されました。日本中の多くの高校の中から国際的な人材を養成するための教育を推進する学校として選ばれました。本校は、また、昨年度スーパーグローバル大学に選ばれた立命館大学、立命館アジア太平洋大学と連携し、グローバル教育に取り組みます。皆さんが海外の高校と交流し、多様な文化を体験し、国際的に活躍するための力を身につける多様な学習機会を準備します。是非そのような機会にチャレンジし、英語力を磨き、異文化交流の力を磨いてください。

また、今年の5月20日にはノーベル物理学賞を受賞された益川敏英先生が、基山町のホールをお借りして、本校生徒のために講演されます。世界のトップ水準で活躍される人、それぞれの分野でオンリーワンとして活躍される人たちの話を聞き、交流する機会を皆さんに提供します。そうした機会からも多くのことを学んでください。学ぶことに楽しみを見出し他人と社会に向き合える人となること、それが「好学愛知・自律自啓」の精神です。

本校はまた、地域に支えられ地域とともに歩む学園を目指しています。佐賀や福岡など各地からの本校の生徒がここ基山の地で学んでいます。基山は九州の交通の要所であり、築造1350年を迎える基肆城史跡を有する歴史的な地でもあります。その地で学ぶものとして、皆さんが地域の人たちに理解され支援されるよう、地域活動への参加や登下校における振る舞いなど、東明館生の名に恥じない生徒となることを願っています。

最後になりましたが、松田基山町副町長様、二又後援会会長様を始め、御来賓の皆さま、ご多忙なか本校の入学式にご臨席頂きましてありがとうございます。心よりお礼申し上げます。本校は地域に開かれ支援される学校であることを目指したいと願っており、今後とも本校へのご理解とご支援を頂けますようお願い申し上げます。本日はありがとうございました。

以上、理事長式辞とします。